

14時00分 開始

1 開会あいさつ（市立短期大学 家守事務局長）

地元である稗田地区の方に大学運営や学生への配慮に対するお礼。
本日の開催経緯の説明。短大の移転場所・規模は決まっていない。
アパート経営者にお礼。助かっており、引き続き斡旋させてほしい。
本日の出席者を紹介。

2 移転概要（企画財政部 杉岡部長）

大学運営への協力に対する感謝。
平成28年に「倉敷市公共施設等総合管理計画」を策定、今後の人口、財政の見込みを踏まえて、施設の機能を残すという方針を定め、その計画に基づいて「倉敷市公共施設個別計画」を策定し、児島地区は市街地で5施設を複合化することとした。
市立短大及び翔南高校の校舎は築50年程度経過し老朽化が進み、耐震化もできていない。翔南高校は大学校舎と体育館を一部活用し、現在の場所に残る。
短大は移転・複合化し、児島のまちづくりの核として地域を活性化させたい。
移転先はこれから検討、移転時期は最短で令和9年度。

3 学長あいさつ（市立短期大学 安達学長）

学生の2人に1人は親元を離れ、アパートでお世話になっている。
地域の皆様の協力に感謝。誕生会やお茶会の開催、生活支援に感謝。
一方で、学生が交通マナーやゴミ等で近隣住民には迷惑をかけている。
市立短期大学は児島第一高校を間借りしてスタートしてから約50年。
学生には安心・安全な環境・教育を提供したい。
児島の新たな活性化に関与するチャンスを頂いていると捉えている。
これからのビジョンとして「地域に開かれ、地域と協働する市立短期大学」を目指す。

4 質疑応答

[「倉敷短大移転地元説明会質問」の質問票](#)に沿って、進行

(1)「児島市街地への移転・複合化（公表案）の優位性」について

回答：杉岡
現在の短期大学校舎・隣接する翔南高校校舎ともに老朽化に伴う建替えが必要な時期である。
建替えには、最低でも2年近い期間が必要となり、仮設校舎等の別途整備が必要となること、さらに、老朽化が進んだ現在の建物を耐震化又は長寿命化しても、延命措置にしかならないので、教育環境や費用面において、非常に困難。
国の補助制度等の活用について、公共施設等適正管理推進事業債という国からの財政支援を活用するためには、他施設との複合化が必須。
短大移転の必要性・優位性について、少子化等により、短大を希望する生徒が減少傾向にある中、短大自体の新たな魅力創出と、学生などによる賑わいの創出といった児島地区の活性化と、児島地区全体の今後のまちづくりを見据えて検討。

追加の質疑応答

市民1) 短大ではなく翔南高校が移転してもよいのでは？
杉岡) 短大は県外・市外からの学生が多く、高校生は基本的に市内が対象。短大生はアルバイトを含め活動範囲が広く、市街地の賑わい創出が期待できる。

安達) 市街地に移転することにより、学生の活動範囲が全く変わってくる。学生には、多くの場で活躍してほしい。本学のイベント時も、現在地では広い地域からの来学は難しく、市街地は集客効果にメリットがある。すぐに街の活性化につなげるのは難しいが、その可能性を多く秘めている。

市民1) (移転しなくても) 倉敷ファッションセンターでやればいいのかでは。

安達) 場所・時間の制約が全く違う。短大生は授業が過密で、時間に追われる学生のことを考えると、市街地のメリットは大きい。市街地で地域貢献活動をするには、現状では時間がかかりすぎる。バス待ちを含めて小一時間かかったりして、機動力に劣り、活動しづらい。日常的に学生と産業の接点を生み出したい。

市民1) 複合化について、場所について

杉岡) 形態・場所はこれから検討する。すべての施設が一つになるとは限らない。場所は、市有地を活用し、候補は数か所ある。移転先の地元の声も聴く必要がある。

市民2) 学長の教育ビジョンが聞きたい。なぜ市街地に移転するのか。学生の利便性しか語っていない。短大が生き残るために、この機にどうしたいのか伺いたい。

安達) 中長期ビジョンについて、「地域に開かれ、市民と協働する市立短期大学」を目指す。児島地区の繊維業界の人材育成を目的に生まれた経緯もあり、初心に帰り、地域特性に応じた特色ある教育を実施する。短大の地域貢献活動は文科省からも評価を受けているので、学生には、地域を実践の場、キャンパスとして活動し、地域の中で成長してほしい。移転後も地域向けの生涯学習を引き続き実施し、地域に還元したい。また、今後は、産学が連携して、積極的に地域課題の解決に取り組んでいきたい。

市民2) ハザードマップから、市街地が安全だとは思えない。今の削ったこの丘は固く安全。学校立地は安全なところを選択肢にすべき。

市民3) キャンパスライフを楽しむという面で、この静かな環境ではなく、市街地が本当によいのか。複合化による市の予算削減面と学校理念どちらが優先なのか、目的が離れていると感じる。

市民4) 跡地利用について、新たに市民が集えるような憩いの場にしてはどうか。将来的な視点で、再度、短大ではなく高校移転、周辺環境も含め、夢のある計画をしたほうがいいのか。

(2) 「移転・複合化計画は、児島の産・学・官で構成するプロジェクトチームで具体案を」について

回答：杉岡

短大は、産業界との連携強化や学生の地元就職等の促進に向けて、地元商工会議所を通じた地元産業界との連携協議を開始している。

また、移転に向けて、短期大学の教職員によるワーキンググループを設置し、様々な角度から検討中。

短期大学を含む新たな複合施設は、今後、施設整備に向けた「基本構想」及び「基本計画」を策定していく過程の中で、市民の意見を伺っていく。

追加の質疑応答

市民1) 移転複合化について。国交省のコンパクトシティが基になっているのか。稗田地区および児島地区のことを考えたものなのか。

杉岡) コンパクトシティの概念もあるが、立地適正化計画に基づいて考えている。市全体の話で中心部への都市機能を集約する。短大は都市機能誘導施設のひとつ。翔南高校は稗田に残し、短大は複合化して中心部へ移転させるのが市の判断。

市民2) 文化センターに体育館を入れるというのは、使いづらくはないか。学生利用・市民利用両面からしっかり考えてほしい。キャンパスではなくなるという側面から別々に作る案もあるのでは。文化センターと体育館は複合化決定なのか。

杉岡) 複合化の中で、ホールの利用形態や必要な席数など、利用者の声も伺っていきたい。

市民3) ハザードマップで浸水するエリアに、なぜ若者を連れていくのか。国の補助金があるのは理解するが、立地はよく検討してほしい。

市民4) 翔南高校と短大はすぐ近くにあるが、連携はあるのか。

安達) 高校と短大の教員がお互いの運営委員として高大連携部会を組織し、定期的に授業や講座で連携している。今はコロナで減少。保育・服飾美術学科ともに教員が出向して授業をしたり、本学生が、高校の福祉分野の介護用施設を使ったりしている。ボランティア活動を一緒にすることもある。様々な形で高校との関係は持っている。

市民4) 鷺羽高校から学生は入学しているのか。

安達) 鷺羽も翔南も入学はある。入学後も活躍をしている。

市民4) 短大内に子育て支援施設もあるが、そこも移転か。

家守) 移転先の規模等が決まっていないが、地域に開かれた大学を目指しているので、移転後も引き続きやっていきたい。

市民4) 複合化した場合、駐車場はどうなるのか。

杉岡) 街中の限られた土地の中で駐車場を確保していく。ファッションセンターなど既存施設の駐車場や、民間の駐車場も含めて必要台数を検討する。

市民5) 茶会など短大の学生と一緒に活動したことがある。短大が出て行くのは寂しい。

今後若者を育ててほしい。応援している。街の活性化のために私たちは何ができたのか。ただ短大があるというだけで、50年間何も変わらなかった。街が魅力的でないといけない。町内会として反省する部分もある。

(3) 「短大生専用アパートの空き家対策」について

回答：余村

アパート経営者に、一人暮らしをする学生向けアパートの提供をお礼。

低廉な価格で提供いただき、大変助かっていると聞いている。

移転は早くとも令和9年度と、今から5年ほど先の話で、来年度以降も引き続き学生がお世話になる。

移転後も、移転先が児島の市街地ということであれば、自転車などでも15分20分程度と十分通学圏内なので、引き続き稗田地区のアパート情報を提供していく。

※この項目に関しての追加質問や意見なし

(4) その他の質疑応答

市民1) アパートの件になるが、今後情報提供するとはいっても距離的には遠くなる。コンパクトシティの観点をうたうなら、公共交通（バスなど）の充実を図ってほしい。下電バスと連携して通学バスを走らせるなど。空き家対策にもなる。公共交通に関する考えを聞かせてほしい。

杉岡) 稗田・児島に限らず、公共交通は全市的な問題。市はコロナで打撃を受けた交通事業者の支援を行っている。大きな課題と考えており、検討していく。

市民2) アパート経営者だが、移転は山陽新聞で初めて知った。移転場所が少しでも稗田に近ければ助かる。場所や移転複合に関する情報を事前に、一般の市民より早く提供してほしい。移転を2年前に知ることができれば、アパートの修繕も行わなかった。情報の事前提供はしていただけるのか。

余村) アパート経営者だけ先に情報をお伝えすることはできない。市民の皆様にも周知するタイミングでお知らせすることになる。

市民3) 移転後は児島地区全体のアパート斡旋となるのか？稗田を優先的に斡旋してもらえるのか？

家守) 今でも稗田地区だけでなく、斡旋希望がある他地区の経営者のアパートも学生向けにリストアップしている。本学は公立短大であり、どこがお勧め等の関与はしていない。

移転後も同じ運用でご理解頂きたい。

市民3) 膨大な児島中のアパートを学生に伝えるのか。

家守) アパートの家主さんから掲載依頼があったもののみリストアップしている。

市民4) 子供が2人いる。今は短大体育館を避難場所と思っているが、移転後も避難場所になるのか？
家守) 翔南高校の体育館が、今の短大の体育館に移ると避難場所になるかもしれない。
市民5) 市が指定する避難所が新たに決まるから、それを待てばいいのでは。
市民6) これから児島全地区が対象となるので稗田は空き家になる可能性が高い。市当局は空き家の損失補填に関する覚悟はないのか。
余村) アパートの情報提供はしていく。その中で、将来同じように入室されるかは分からないが、市として何ができるのか現時点では回答できない。
市民7) 市が決めたことなので移転するのだろう。アパートの件を含め、今まで稗田がやってきたことに対するリスペクトはないのか。学長は時間がかかる、かたや自転車で15～20分という。学長の言うこと、担当部の言うことは地元の説明したという単にアライバイ作りのためにしているのか。議事録を取っているのか。
家守) もちろん、議事録は取っている。
市民7) ハザードマップは命に関わること。聞き流さないように。この説明会の意見は今後の検討材料にしてほしい。
杉岡) 今日いただいた沢山のご意見は今後の検討材料にする。
市民8) 今日の意見はホームページで公開するのか。きちんとパブリックコメントの後に公開しないと意味がない。
市民9) 事前質問は文書で送ったのに、回答は文書で回答されていない。公表してもらわないと困る。
家守) 議事録という形でホームページに公開する。回覧希望があれば、打ち出した紙を自治会長に持参する。
市民10) ホームページというのは倉短のか、倉敷市のか。
家守) : 倉短の方で掲載する。
杉岡) 新たに整備する複合施設は短大のほか、児童館、憩の家などがあり、まちづくり推進課が中心となって複合施設整備のプロジェクトチームで検討を行うことになっている。この度の意見は、そのプロジェクトチームでの検討に役立てたい。
市民11) いつホームページにアップされるのか。
家守) 2週間以内に掲載する。

5 閉会あいさつ (家守事務局長)

参会のお礼ほか

15時40分 終了 参加者退室。